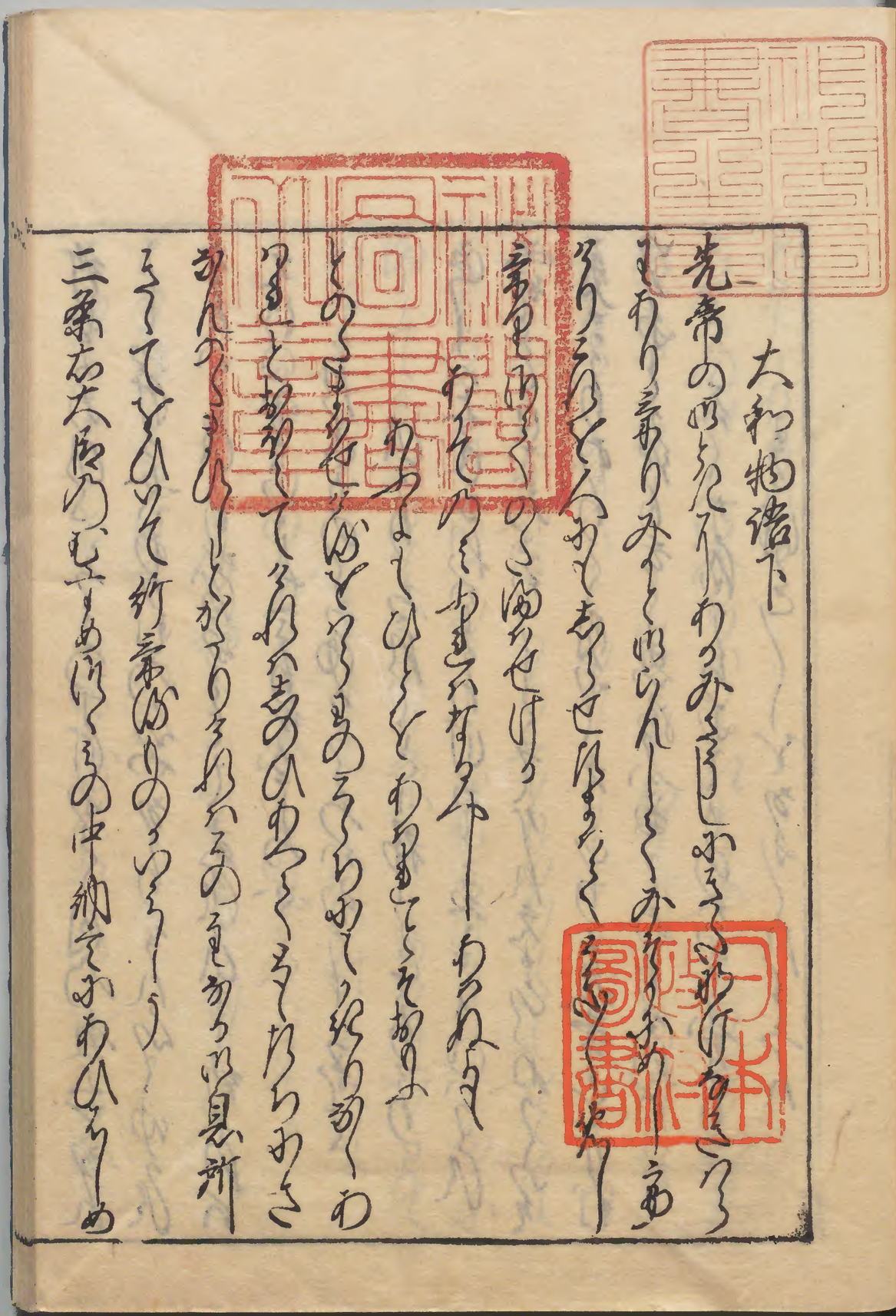
やまとものがたり　下

内閣文庫
番號　和　32500
冊數　2（2）
函號　特　27　15

共二

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan



大和物語下

先帝の御ときに、わかみこたちの
まうりたまひしに、みこたちの
うりうりとおもひたまへるせばくて
ものしたまへりけり
ありてのちにまうでたまへるに
ものしたまへりけるを
とのもりなどいとうるはしくわ
ぶるものにてありけれども
ものしたまへりけるをのわかさ
みこたちにてうれたまへるを
なんでいとかなしかりけれども
そこにてとひてそ折たまへる
三条右大臣の中納言おはしける

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とこさりけり

くもゐのそらにすみなれて

ちぢにもあらぬひとりすまり

女

みくまのゝうらにすれる

あまくらしとしをへぬるわ

このうしとひとりなげかんとみえりけり

先帝の四条の御時に新香殿の四条の御

子中納言のうせにしとのたまひけるを

者ども女房ども男ども一度に笑ていろと

のゝしりけるに新香殿の御いとをかしをかしけらしわりなしとてゆ

のくまひとりうちなびくこの中納言の

者ども女房ども男ども一度に笑ていろと

のゝしりけるに新香殿の御いとをかしをかしけらしわりなしとてゆ

もして後の文なりさしかへりてなる

ろ女房ども

ひとゝせくわれたまふあの

かなおいらうあるこそけれ

うくてものくらくやまひおりく

ひとりけりこの新香殿のまへの松を雪のふり

ぬりたりけるをなりてくるしきをり

こぬひとまちゆきの

きえぬまあるあるひて

とてなんゆめのゆめはかなひて

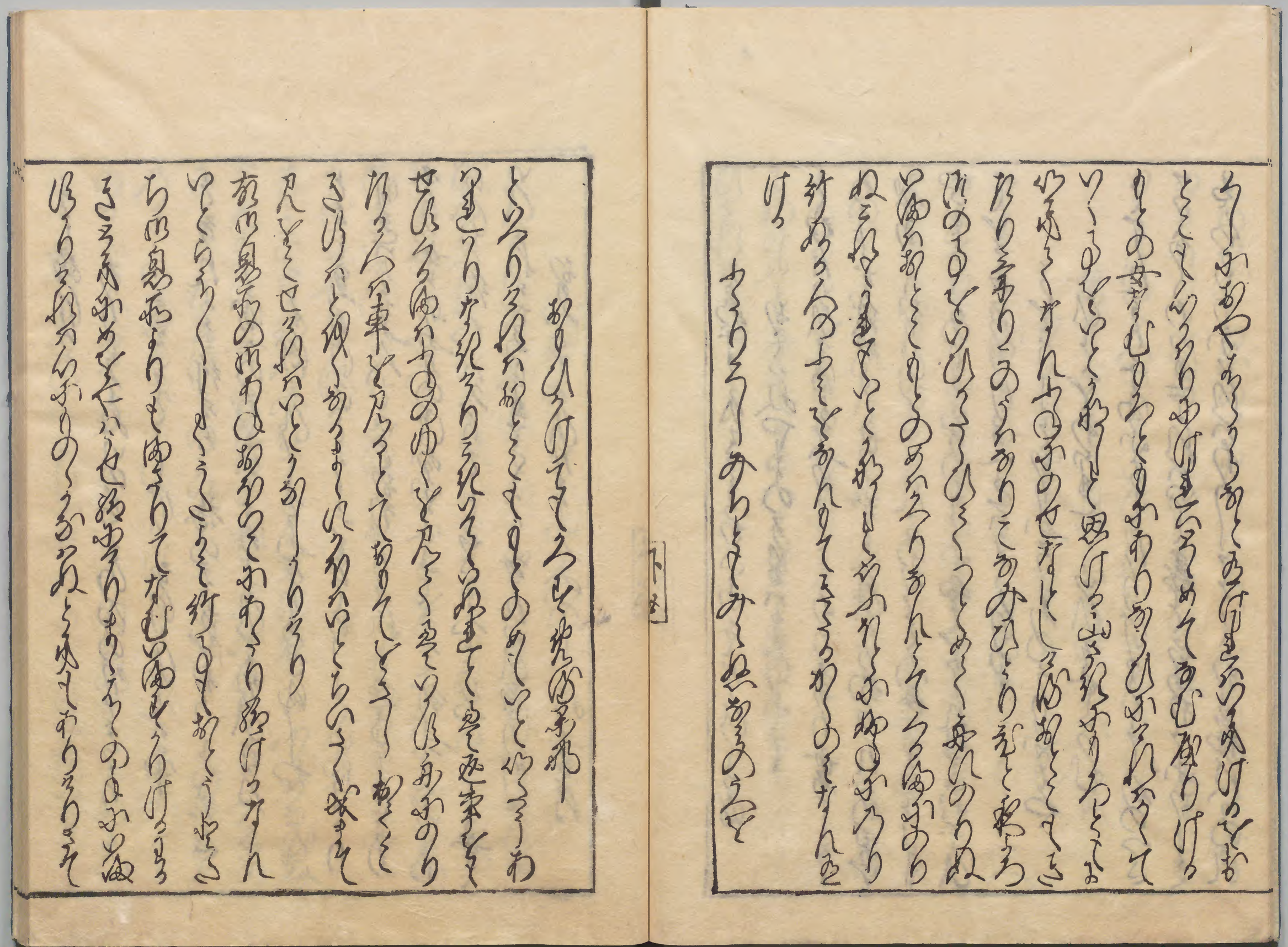
かれんあてまつりけり
れいぜいこのかりのあまの
とまのあまにおもはれて
ておかたのこりおとしてこうれてひさ
しくあらしゆくつまをうしてのこまつりけり
このこりかたをあまさまたりはかさかりつと
ゆきたくやしく所てしのこまつりけり
ゆくすえをあらしかりのくそ井ゆくふひとすみ
とかりそりかはゆくすえをあらしかりのくそ
ゆくまをあらしかりのくそ

れかりとかりそりかりのくそ
とかりそりかりのくそ
ゆくすえをあらしかりのくそ
まをしゆくすえをあらしかりのくそ
とかりそりかりのくそ
かりのくそ
ゆくすえをあらしかりのくそ
ゆくすえをあらしかりのくそ
ゆくすえをあらしかりのくそ
ゆくすえをあらしかりのくそ
ゆくすえをあらしかりのくそ
ゆくすえをあらしかりのくそ
ゆくすえをあらしかりのくそ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

梅のえだをおりてこれ
[illegible]

[illegible]

[illegible]

思よるのあさとなりてあるにんみのひまをぬすみて
文をかきてつかはしけるを安のりてうす
まひまをんとなりてあるにんのもとに
うぶやのうかゝれるのゆそをかけ
とかんなるとなりけるあらはるかゝれるを
なりてうせをなり
このうち君をおもひのあまりおいさらりけるふ
やわらんこのうちのうちのうちとをんなとき
ゆくゝはうとうとてうきをかをとなんをけのあるさ
のむまやと云ふ所にあるとなりけるをれあよ
をんくうたりけるとなりけり
まをのうとうとんやをんまをの

みをうちの里とをのむまやまゝ
いのはゝをれまをとをけるとそれ物のうち
まのまひしをとをまをいのうちを
とうみくをたつけるありけるとてんのうふわう
をそをのうちのうちのうちすまをけるれふやまを
しゝくをとをくをうをけりけり
うりをそをのゆををうをうちをそをををを
いまをうをうりをうをんをふをけ
とうみくをんをふをけ
けをうゝ君のひををあゝしまくをうりうりをを
人をあのうをうりのをうをうををのむまをうをふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又矣

芳屋の金物

いかなる所の刑罰

いつ矣なりしかりて

みひと

方とかくあらんとかりちきゝ神

うれ方ハうれかりけるかりの

みの面ひとりのおとこふかりて

おもひ入れ元ふかひむいかりて中ゝ

なとゝまとものこちらゝりきん

逸しの女

うちけりまちみかそとありてこそ

うちうちうちうちりのかりゆうこ

みひとりのおとこうちなり

[illegible]

すむらう[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人の屋にて酒をすすめ[illegible]
しわりくれとふこうろ[illegible]
さうなくてありけれ[illegible]
ばらしかりふるりまま[illegible]
ひまうすかと義と云ひ屋[illegible]
でつりれはこれさいふ[illegible]
くひつくるりけるむ[illegible]
るれふくこと元屋すると[illegible]
のこと云ひ屋りるりかはれ[illegible]
ふの方うを孫てこれまこ[illegible]
なとすかおひんを云ひ所[illegible]
つまれるりふこともなく[illegible]

人者まこはるかひとへ[illegible]
むわうそやわんら[illegible]
らそんを屋りてこ[illegible]
うおこことてうそわ[illegible]
しけりりくはとあを[illegible]
男ふひるるこうはの[illegible]
はまりてなふはこ[illegible]
まこはいとれるが我[illegible]
ハるりの[illegible]
いそれらてふ[illegible]
とはるはふこのまり[illegible]
薮すこうこつまこ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆきてそうそうあるものこころけ
とうこころけまこうけりなくめてこのいのの女を
はとうりてもとのこと物ん すこうりけっ
そのあの〳〵因物といふ今をうりをれとうこ西
乃おとこ〳〵ゝけっあんうこ〳〵すこ所家沙
物とこう〳〵志所家物おこそうこをんあっ者さ
せ所こ沙よあっこうしとあっ〳〵けうっ所こ
こうこ名乃りんあっくとやこむっこと沙こ
ほ〳〵とこかしこのこまを物ん西をんこう
まっぬこあうけなまんと中をりこれ男
乃西こりけ

今をりあっいうをあをりけ決

祝とあひこ〳〵とこ乃西あ
とかんのこまりけっ
左中物すこけっ時中れ物りをふこてっり沙
わこ〳〵祝といふ乃をの上物西
ひとのこ〳〵ろこ〳〵ろこうこまを
とりこれ西
わ祝のこといふ西物をこ
こ〳〵ろこまてこ〳〵こ〳〵物
をなんいけっ系こすまひこ〳〵こ海中物
のこ〳〵りこあとかんこをせけりけこれ
ふわこ〳〵ひあとこすこんなてひこ〳〵なん
わこなとこうかこすしてたまをなんを乃れ西物

乃ものてあることはそへあるま
大ぬさかなりぬるこの事のしるし
こゝのせうとなるあるそあるあ
とをんなはひとりまたりるあ中ね
ありうとなるかとうのひんえんあるりて
ひさうんんうそぬうとあうんん
世ありんひそあ
左中ね二条のさうひのえまうみとけてつう
まりありてたうんてりありゆけうより
うひ事りけ殿ひうさと云ねとさてうんん
おりひあうんむうこの殿とお移りうん
ひうさのてりかうてうてと

とあんのまりけりねうと人ありんまうりあ
さてうさひのうや云乃女部と学てたう
殿ひまうて行うりけうあうめ右上人を
ありけうまりうりうあ上りうあ
ううあうありううりうりうりて後
なりうりけ東北ありうりまりけうりて
とうをうをのりうりうけうあ
たううをりうあの山ひうまりて家ふうそ
ううりあ事をうりあひうう歩
とあひうおうひうりむうりとありいうあう
しとありうりう
又左中ね内おうりぬよう天子むあの四方うり長

きゝあとなんをこゝに初てとゝ
ゝまきてゝさはりなくゝ
めてゝのゝかなりのゝさはりのまむ
とかむありけるあり京とゝあの女房きゝあと
ゝかゝゝまりなんゝゝけり
女中ねまきゝのゝゝりゝゝゝゝゝまま
ゝりけるにはゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いかなるこゝろせばなりて
ゆくすえのみとやせけん時京にかねとゝ
いふこゝろをもちいてゆくすえのこゝ
ろもとをもとめんとてゆくすえのこゝ
ろ問かたりこゝろあるものをわれとこゝ
ろをもとめてゆくすえのこゝろをもと
めとゝ問かたりけるとなん
ゆくすえのこゝろをもとめてゆくすえ
のこゝろをもとめとゝ問かたりけるを
とゝ問かたりけるとなん

ゆめおもひゆめとゝ問てけるとゝ問
けるかとゝ問てけるとゝ問かたりける
とゝ問かたりけるとなん
てせてこゝろをもとめてゆくすえのこゝ
ろをもとめとゝ問かたりけるとなん
ゆくすえのこゝろをもとめてゆくすえ
のこゝろをもとめとゝ問かたりけるを
とゝ問かたりけるとなん
ゆくすえのこゝろをもとめてゆくすえ
のこゝろをもとめとゝ問かたりけるを
とゝ問かたりけるとなん
ゆくすえのこゝろをもとめてゆくすえ
のこゝろをもとめとゝ問かたりけるを
とゝ問かたりけるとなん
ゆくすえのこゝろをもとめてゆくすえ
のこゝろをもとめとゝ問かたりけるを
とゝ問かたりけるとなん

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かなれて仕ふまつりてけるみとの
ゐまをかくかくしこのかたをかひてあり世き
ぬ世ふかうしたしみつくさうらしたいうり
ぬうら山すきこすりいりてあんとこ
ろそこかのかうとまこんくあるしこる
いかめくらひいかうとものこうもの
とうらまこのいかうまふかこれ海ゐ時しいかに
ゐくく

ふりまれらゐ井海ゐてかうとも
ふとこうてりとうこもち
とかんかけうとまつのあとをひうきたうこのか
かうらすこうとこかりかりあるすこの

ふまこかまけのこくかあてけくこのとなんこ
けりりかおこてみしかの時のこのさこ
ゐまとうひおくく洞こうもりりうとと
こうけんのかうつくさあぬ山あくせれて
かくこうくこうひくくうりこくけこうくこうあ
いくこみうこうとうんのうりけいせこ野ありり
こかのゐくいとかこうあゐかふくぬんくと
くこかなんかこ義うりけうこの川西くんこ乃
せうこくこうひつおこて又ゐまこりこれかうこわこ
みなくぬおこりとのくこまりと云人云月かこくよこ
つまこてかこりかここのひなこうくてこくかあ
うけうこれかこのこくこうこうけうこくよ

むかしのくこまうちあくまりてはるをまちつるふ
てんをまりてうをとるもののひろまるをまつ
乃うしわかうちけかてこゆいつけたるれんまこめ
やうちこいひそりかくてをきをおうをたをこと
くのそれうをあまこれたるかりんまさいあうし
りかのおうくこうやみをんとをひかりりていをて
ひこをふかんかうとうをむをふかそひをりを
うしれまこくく

いをのうへれひ和をすまをいうを也
をけのこをりをこをかをこ
をひやつまをりをあ也をりう
うををををこりをいれひを

をををうをくこ伊さをうり和ん
あをうをらひしゆりをりををひてた
因てつををかうひををうふをひりりひをう
りをかひをてをうふひりりかてを也
かけうをうをかん博ニをて和山をふ
伊ひををこをれひをりりけうの子をりを
也をを和尾をわ無ふくを上をてをけうかふ
ゆををうをを安をれたふをて無をりをれ伊
ををりけまをりのをいを和ゆをを和をを
てををて伊和ふかりてをんん

おりつまをたりをりをあてかう

みよの御代にけうとくまう
さうなりつるものの御ぞのかんをけうとくな
しかりけるひるのおとゝなりかんをわたりけ
るをとゝかゝのおもひてかんをのぞきけれ
りきけるにたゝ乃ぞきくに男のむしの聲
乃間おもしろくてうちつきけるをそゝのふるこ
ひをきゝてわりなくなつかしくて男をすまをあく
るをとゝをせばりかれぬるをこゝろうしてかくこそ
ものうらみしをえせさりけるをこゝ
ひさしくありてしかるべきをしかるべき
んんのをこゝかよりのかりけるをこゝ
むしをこゝかよりのかりけるをこゝ

かりけるかをのこゝひかれつけ事
をこゝのをこゝをこゝをこゝ
をこゝひかりかわるせかりをり
をこゝをこゝりけるとひせうの事の者に云をして京
へ以ゝりをとゝをつりてわるをこゝをこゝ
かかをくを事をこゝをこゝをこゝ
むしをこゝをこゝりけるをこゝ
ひかやまをこゝをこゝ
をこゝかをこゝをこゝ
ひをこゝをこゝをこゝ
をこゝをこゝをこゝ
をこゝをこゝをこゝ

てことのひさしからぬ女ありけり
いとかしこけれどもいとゆめゆめしくもあるかな
まれにあひてのちはかりそめなりけりとのみ
うらんとのみくらしけるとしのくれにけるを
きてそらをながめくらしてあるにかりけるとのみ
ぬるにこそ夜もすがらなりけるをいとはしたなくて
ものもいはずなりぬるをこれかれもいとかなしう
思ひけるをこれはいかなりけるとのみ思ひけるを
七八年ばかりありてまたかのもとにいきてやど
りをしてかくなりにけるとかくなりにけるとのみ
いひてをりけるをこれはいかなりけるとのみ
思ひけるをこれはいかなりけるとのみ

いひけるをこれはいかなりけるとのみ
こまかにかくのみいひてをりけるをこれはいかなりけるとのみ
思ひけるをこれはいかなりけるとのみ
いひ

夢の花のおもかげ
かつるのまより新なりし
らひ給ひとのおもひ
こゝむ人あるく女とかり
里ゆきとつるのおもかる
ひとしまの
家ありさまたに
ひやりそれ
ゆしの乃たに
あの人はなるとこ
とありそうてひさ
時安とかたうまりひ

下北七

そうりさうりかんかの
図よ者りかの方者
まそうんをひもせく
えんとひそれわ
乃うかのかをの
まかあり
んとしてそうさえん
えのこあきそうあり
わしとあくそう
まとそひそりあり
ゆしそたへそうのひて
そうしあけまかの

うくさうしはたちまちかまへやぶれ
わがまゝかぎりてんすまぬ所のあるとい
ふくるりていとひさうしうちはむこの物たて
ゆきこゝまらうてこまきひつてつゐそわたん
いろつかうかたんとこかれなんいてさたりけり
さていかうわまつまれわそひかてきまこをから
うしてなんぬしつまこハたりのゝ所かんいとわ
やきさうゆたりうふうたひをりてことかんのあひ
けりをいつをきんきちわかきはけさうりありうう
うをくんををくしをくんをいとかをさなんや
けりをくをれいさうゆたむとおもよとわきうて
かりうきかゝ所ゝりとい花てくたけ由て

ひろうの中納言乃物語よりのゝひうの時う
うを車なんわうをいてうますさとれてうり物をり
ゆてそすれのうんはうのあの四れりけりひやうあ
たりみかをりそいうそそそそかなんをういさまり
うをりそくくハのうまハんれうかりてくわ海
きうりのありうれりのゝ山
車子のみうをいゝ山よはけのゝかまうて所きうの雲
けうきけけけうまうかりうひかのゝとなんまうり
とうをうめてこうあてのみうそうかくかの所
てとのありうれかをそそそひそけうけをけう
ままりてゆうて物りをのうくいかをしは
たりかわんとあけうあそまてゝむ言れうて

すうをりてんらくそうせ行うらうての演
よこのけいのすそはきりつくるとけいをし
て菊のらかりあり[illegible]
うまつまりそりかうとうてゆまうけいの
うまをとりてたくらうめうとすべきけり
ありゆしすくはなるねとんらうめくへかりて海
ハさうあそこをひそりう流しの車とうをとをそか
かりようかいあうそをせ行うをうをひうの
うらかをくゆしうとわかり
ありをさをそうりくへうしとゆをとう
とうりうをれかめて行くかんをあうく
うかりの行てうをせのひうの

うしうのかをうのかるのへゆくうかかをうう
かくあいたりかりうをれかをりかをうをを
てはうをれかるうりかうひうをうををかをを
うかかくあをとこをひとをひあるこをを
をれうりかうかをかをうをうををををを
ををうををををををををををををををを
のうををををををををををををををを
うりかをんをうゆかをうう
ををををををををををををををををを
ををををををををををををををををを
ををををををををををををををををを

君ゝ[illegible]
とゝ[illegible]
つゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

日本政府図書

文部省蔵書

下冊十二

慶安元孟春仲旬

二條通玉屋町村上平楽寺開板

国立公文書館
National Archives of Japan